

イメージングラマン分光分析装置の紹介

○ 本装置は、ラマン散乱光によってケミカルイメージング分析をする装置です。

物質にレーザー光を照射することで発生するラマン散乱光を検出し、その物質を構成する化学結合等に関する情報が取得できます。2次元または3次元イメージング画像を作成することができるため、サブミクロンの空間分解能で、試料内部の多成分の分散状態等を可視化・評価することが可能です。

<主な機能>

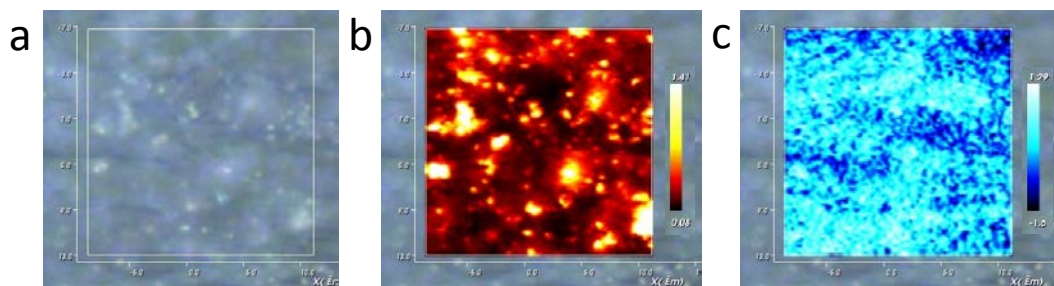
- **共焦点機能**により非破壊で3次元イメージング画像を作成できる
- **ラインフォーカス機能**による高速スキャン
- **フォーカストラック機能**により粗面・曲面のイメージングが可能
- エス・ティ・ジャパン製 **スタンダードライブラリー**を搭載



レニショー株式会社
inVia™ Qontor™

<主な仕様>

励起レーザー波長 : 532 nm、785 nm
 測定波数範囲 : 100 ~ 4000 cm^{-1}
 波数分解能 : 1 cm^{-1}
 空間分解能 : 1 μm 以下



a: レジ袋の顕微鏡画像
 b: レジ袋中に分散している酸化チタンのラマンイメージ
 c: レジ袋表面の凹凸像